



## もっと女性が活躍できる建設業を目指して

# 建設ウーマン意見交換会開催！

参加者の皆さん【第1回】(左から)  
 梅澤 知栄【株式会社、平野 恵美子【日立建設(株)】  
 藤井 順子【山口県柳井土木建築事務所】  
 吉安 紀子【山口県技術管理課】、勢羅 満子【(株)ミヤベ】  
 西川 敬子【勝井建設(株)】、上利 春香【(株)高山造庭園】



と女性が活躍できる建設業の一環として、8月27日、山口市小郡の山口グランドホテルにおいて、「もっと女性が活躍できる建設業」を掲げ、増に女性倍



「5年以内」を策定。建設業行動計画」を策定。建設業関係団体が共同して、「もっと女性が活躍できる建設業」を掲げ、増に女性倍

官民一体となつて様々な取り組みを行つていきます。その中で、平成27年「もっと女性が活躍できる建設業」地域協働推進事業」の募集が行われ、山口県も「山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会」（建設業団体、教育団体、行政機関等）が中心となつた「やまぐち建設産業女性の活躍支援ネットワーク」を構築し、「地域建設産業における女性就業者の意見や企業の優良な取組事例の収集・発信」事業に応募、採択されました。

建設業界を挙げて女性の活躍を応援するため、平成26年8月、国土交通省と建設業関連団体が共同して、「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を策定。

「5年以内」を策定。建設業行動計画」を策定。建設業関係団体が共同して、「もっと女性が活躍できる建設業」を掲げ、増に女性倍

建設業を目指して」と題した意見交換会を開催。県内の建設業に従事する女性7名と男性1名が参加しました。参加者の皆さんは、仕事について経緯や現在の仕事内容について各自が発表したあと、「建設業のやりがい」「苦勞している点」「仕事と子育ての両立」などのテーマに沿って活発な議論を交わしました。

「苦勞している点」の中でたくさん意見が出たのが、トイレや更衣室がない「現場での不便さ」について。短い工期の現場では仮設トイレが設置されない場合もあり、周辺の公共施設を利用するなど苦労が多いとのこと。設置を国や県から規則として義務づけて貰うことができれば」との声がありました。

また「仕事と子育ての両立」については、緊急時の呼び出しへの対応について議論がされ、市のサポートセンターの利用や病児保育など、具体的な対応策が挙がる中、「何より同じ仕事に携わっている仲間」に現状を伝え、理解してもらい、何かあったときは仕事を休ませてもらおうなど、周りに助けてもらうこと。そのような関係を常日頃から築いておくことが大切だと思ふ」との意見がありました。

「苦勞している点」の中でたくさん意見が出たのが、トイレや更衣室がない「現場での不便さ」について。短い工期の現場では仮設トイレが設置されない場合もあり、周辺の公共施設を利用するなど苦労が多いとのこと。設置を国や県から規則として義務づけて貰うことができれば」との声がありました。

また「仕事と子育ての両立」については、緊急時の呼び出しへの対応について議論がされ、市のサポートセンターの利用や病児保育など、具体的な対応策が挙がる中、「何より同じ仕事に携わっている仲間」に現状を伝え、理解してもらい、何かあったときは仕事を休ませてもらおうなど、周りに助けてもらうこと。そのような関係を常日頃から築いておくことが大切だと思ふ」との意見がありました。

また、12月2日には、同会場において2回目の意見交換会を実施。「建設業の魅力伝えること」をテーマに、女性6名が活発な意見交換を行いました。



また、12月2日には、同会場において2回目の意見交換会を実施。「建設業の魅力伝えること」をテーマに、女性6名が活発な意見交換を行いました。

建設業の魅力発信については、「女性限定の現場見学会を行つてみるのはいかがでしょうか?」、「親子を対象にしてみてもいい?」などの意見のほか、「当社の現場見学会の中ではスケッチ大会をしたこともあり、すよ」等、様々な声があがり、「一般の方々に建設業の良さを知ってもらふ機会をたくさんつくるのが大切」との意見に皆さん頷いておられました。